

様式

技術名称	高精度GNSS測位技術を用いた計測情報提供サービス	技術の分類	システム	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無し
会社名等	国際航業株式会社	担当者	技術本部防災部 飯島功一郎	連絡先	042-307-7210
技術の概要	高精度GNSS測位技術を利用し、地盤や構造物等の三次元変位をリアルタイム監視する計測情報提供サービス(システム)である。独自技術により1-2mm程度の変位を検知する精度を持ち、計測値を24時間365日モニタリングする監視センターを開設、異常発生時には即座に関係者に通報することが可能である。従来は光波・水準測量等で変位計測を行ってきた港湾構造物等のモニタリングを、高精度・リアルタイム・連続観測といった利点により高度化・合理化を図ることが可能である。	添付資料	パンフの有無	有り	
			その他の資料	発表論文	
技術の特徴	<p>①高精度計測:トレンドモデルと呼ばれる時系列統計処理を用いた誤差処理技術(新技術)の導入により、従来のGPSや光波測量よりも高精度な三次元変位計測が可能(1-2mm程度の変位検出が可能)。</p> <p>②安定性・連続性:1回/時の自動連続計測を行い、悪天候時や地震時等の非常時にも安定した連続観測が可能。GNSS基準点を遠方の不動地盤に設置できるため常に安定した計測ができる。</p> <p>③コスト優位性:新型の安価なGNSS機器を導入し、計測データは監視センターにおけるクラウドによる集中解析処理をおこなうことで、1現場当たりの計測コストを低減できる。</p> <p>④メンテナンス性:GNSSは器械的可動部が無いため故障が少ない。監視センターでは、常時現地機器の稼働監視を行い、万一故障が発生した場合でも即座に検知し対策が可能。</p> <p>⑤利便性・情報共有化:監視センターで解析処理を実施し、インターネットを利用して常時配信するため、常に最新のデータを閲覧出来る。また、管理者だけでなく関係機関の担当者も計測結果を共有できるため、迅速な状況判断と対策実施が可能となる。</p>	その他	<p>◆特許 防災監視システム(特許第3745280号) 防災情報配信サーバ及びこのサーバとともに用いられる防災配信システム(特許第3742346号)</p> <p>◆技術基準・指針等 ①国際岩の力学学会:GPSを用いた岩盤変位計測手法(推奨法) ②国土交通省:国土交通省 河川砂防技術基準 調査編 ③ダム工学会:フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル ④地すべり対策技術協会:地すべり観測便覧</p>		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。